

平成 31 年 3 月 14 日

岩手山火山防災マップ修正に係る修正点

1 目的

昨年、作成した「岩手山火山避難計画」の周知を図るため、これまでの「岩手山火山防災マップ」の内容に避難計画の新たな情報を盛り込んだ修正を実施するもの。

2 修正（案）作成までの経緯

- 平成 30 年 8 月 10 日、関係市町村連絡会議を開催し、**火山防災マップ修正（案）の内容**を検討。
- 平成 31 年 1 月 28 日、岩手山火山防災協議会**避難計画作業部会**を開催し、**火山防災マップ修正（案）の内容**を検討。
- 平成 31 年 2 月 15 日、岩手山火山防災協議会**幹事会**を開催し、**火山防災マップ修正（案）**を協議・決定。

3 主な修正内容

避難計画の内容に基づいて、主に次の点について修正を実施。

- (1) 各市町で指定する避難所の名称や場所等を最新の内容に修正。
- (2) 所在地を分かりやすくするため、高速道路、国道及び県道等の色を分けて表示。
- (3) 避難時に必要な情報や火山噴火時の留意事項等を裏面に追加。
- (4) その他、文言の修正等、所要の修正を実施。

岩手山火山防災マップ

〈西側で水蒸気爆発、東側でマグマ噴火が起きた場合〉

このマップは岩手山の過去の噴火に関する調査をもとに作成したものです。今後岩手山で想定される噴火について多くの方に知っていただき、一般家庭や観光施設をはじめ、関係機関での防災に役立てていただくことを目的としています。西側では約3,200年前の水蒸気爆発、東側では1686年のマグマ噴火と同じ規模の噴火が発生した場合を想定して、災害予想区域を表示しています。

ただし、実際の噴火ではこの図と異なる場合もありますので、噴火の状況に即した対応が必要となります。

番号	避難場所	対象地区名	連絡先
1-1	城北小学校体育館	月が丘の一部 滝沢市国分・法誓寺・ 元村南自治会の一部	019-641-0187
1-2	厨川中学校体育館	西青山の一部	019-647-2253
1-3	青山小学校体育館	西青山の一部	019-647-0120
1-4	大新小学校体育館	長橋町・中堤町・大館町・ 稲荷町の一部	019-647-7531
1-5	土淵小・中学校体育館	長橋町・平賀新田・上厨川の一部	019-647-4740
1-6	大台地区コミュニティセンター	大台の一部	019-683-2116
1-7	松内地区コミュニティセンター	松内の一部	019-682-0989
1-8	小袋地区コミュニティセンター	小袋・夏間木・芋田向の一部	019-683-2116
1-9	生出3地区コミュニティセンター	生出の一部	019-683-2116
1-10	浜民公民館【総神ホール】	下田・川崎の一部	019-683-2354
1-11	浜民小学校体育館	下田・川崎の一部	019-683-2254
1-12	玉山総合福祉センター	下田・川崎の一部	019-683-2743
1-13	舟田2地区コミュニティセンター	山田・舟田の一部	019-683-2116

番号	避難場所	対象地区名	連絡先
2-1	旧西根小学校		019-693-2324
2-2	西山公民館		019-693-3321
2-3	西山小学校	小松(県道東側)	019-692-2224
2-4	町宮体育館	綱張、盆花、権楽野、五区、 磯山(黒沢川西岸)	019-692-5030
2-5	栗石小学校	黒沢川(黒沢川東岸)	019-692-2203
2-6	中央公民館	下町一(国道北側)、下町三 (国道北側)、黒沢川(黒沢川西岸)	019-692-4181
2-7	七ツ森小学校	陽和郷、磯山(黒沢川東岸)	019-692-0571

番号	避難場所	対象地区名	連絡先
3-1	東部体育館	南一本木自治会の一部	019-688-4872
3-2	滝沢第二中学校	南一本木自治会の一部	019-688-4907
3-3	滝沢東小学校	北一本木自治会の一部	019-688-6602
3-4	滝沢第二小学校	柳沢自治会の一部	019-688-4002
3-5	滝沢小学校	元村中央自治会の一部	019-687-2314
3-6	滝沢中学校	元村北・元村東・元村西自治会の一部	019-684-1771
3-7	滝沢総合公園体育館	姥屋敷・元村中央自治会の一部	019-687-3311
3-8	鶴岡小学校	元村中央自治会の一部	019-687-2004
3-9	ビッグライフ滝沢	元村中央自治会の一部	019-656-7811
3-10	滝沢南中学校	室小路自治会の一部	019-687-2021
3-11	篠木小学校	室小路・鶴岡南自治会の一部	019-687-2064

番号	避難場所	対象地区名	連絡先
4-1	西根中学校	上平笠、中平笠、下平笠、南平笠	0195-76-3530
4-2	大更コミュニティセンター		0195-76-4069
4-3	大更小学校	松川	0195-76-2239
4-4	旧東大更小学校	岡村	0195-74-2111
4-5	旧沢川小学校		0195-74-2111
4-6	西根地区市民センター		0195-76-2111
4-7	田頭コミュニティセンター	薬師、館腰	0195-76-2521
4-8	平鏡コミュニティセンター	新田	0195-74-2040
4-9	平鏡高校	高宮、中村、間羽松、館腰の一部	0195-74-2610
4-10	平鏡小学校	上寄木、南寄木の一部	0195-74-2216
4-11	西根第一中学校	北寄木、山道	0195-74-2514
4-12	寺田小学校	八幡平温泉郷の一部	0195-77-2323
4-13	寄木小学校	金沢の一部	0195-76-3498
4-14	柏台小学校	南寄木 八幡平温泉郷、金沢、柏台三丁目	0195-78-2003

【避難の際の留意事項】

噴火が発生した場合、その影響により河川の氾濫が想定されることから、橋梁やアンダーパス等の使用には十分注意するとともに、危険な場合は反対方向へ避難すること。

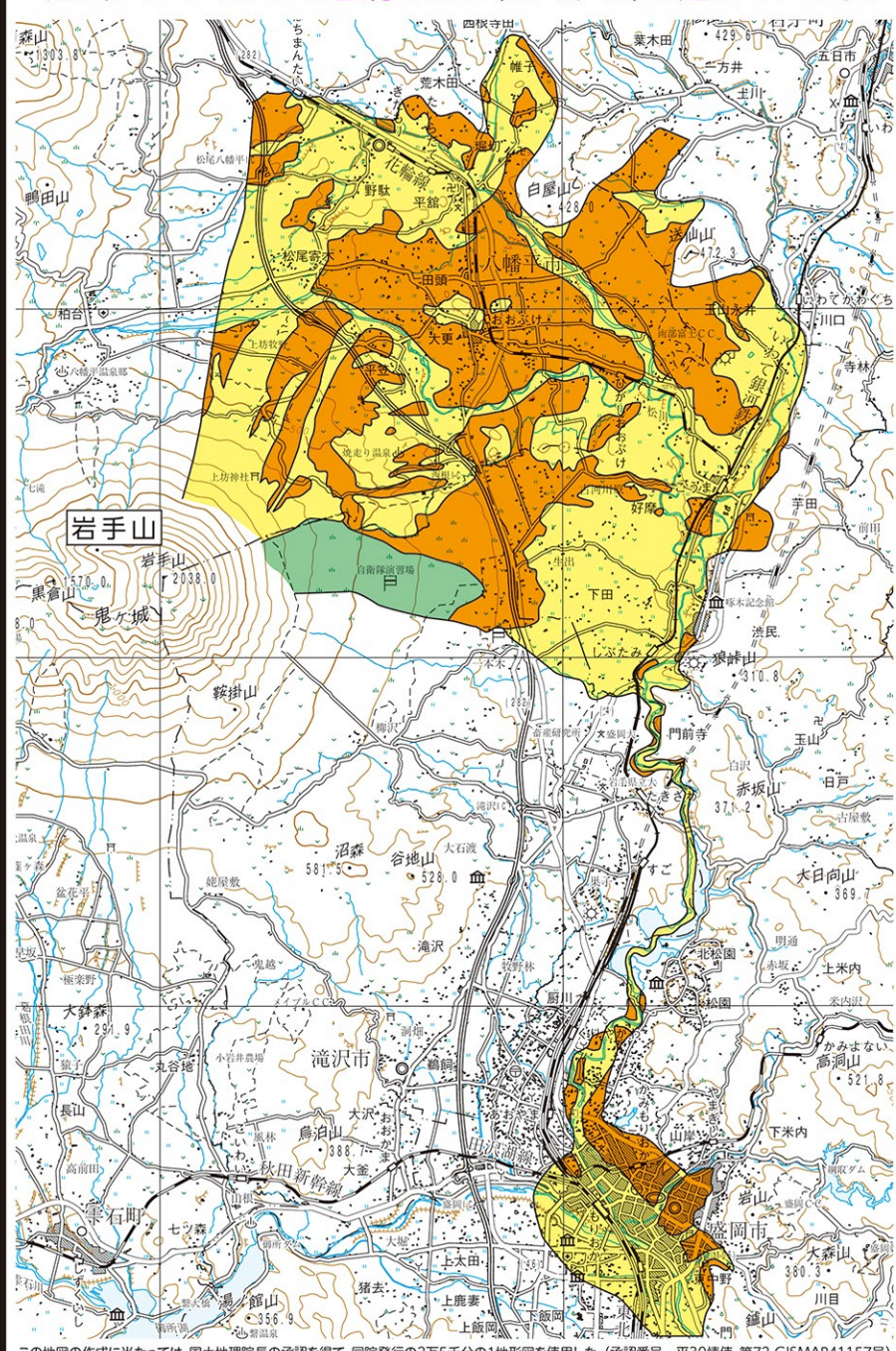
【噴火に備えて】

避難の際には日頃から準備が大切です。非常用持ち出し品(リュックに詰めておく)、避難場所と緊急連絡先をチェックしておきましょう。

- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> リュックサック | <input type="checkbox"/> 衣料品 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 応急医薬品 |
| <input type="checkbox"/> 多機能携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 食料品・水 | <input type="checkbox"/> 貴重品(現金・通帳・印鑑など) | <input type="checkbox"/> ホッパース |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器 | <input type="checkbox"/> 健康保険証 | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> プラスチック製のカップ |
| <input type="checkbox"/> ヘルメット | <input type="checkbox"/> ゴーグル | <input type="checkbox"/> 大中小のビニール袋 | |
| <input type="checkbox"/> 十徳ナイフ・缶切り | <input type="checkbox"/> ロープ | <input type="checkbox"/> タオル | |
| <input type="checkbox"/> マッチ・ライター | | | |

わが家の避難場所は

●過去にはこのような岩屑なだれ(山くずれ)も起きています。



岩手山では過去に「岩屑(がんせつ)なだれ」と呼ばれる火山現象が発生しました。平笠岩屑なだれは約6,000年前に岩手山の山頂部が大崩壊したものです。崩壊した土砂は速くは西根町寺田付近や盛岡市街にまで到達しています。
また、有史以降でも、西暦915～1686年の間に規模は小さいものの、一本木原岩屑なだれが発生しています。
資料：土井(1991)、土井・大石・吉田(1991)、土井(1984)



避難場所	想定火口	大きな噴石	降灰	火砕流	火砕サージ(爆風)	溶岩流	土石流	火山泥流
	西側 東側 	西側 東側 	西側 東側 	東側 	東側 	東側 	西側 東側 	東側
	予想される火口位置	大きな噴石が飛んでくる危険性のある範囲	火山灰が降り積もる厚さ(cm) 厚さ 風向きによる例	火砕流が到達する危険性のある範囲	火砕サージが到達する危険性のある範囲	溶岩流が流れ下る危険性のある範囲	土石流が流れ下る危険性の高い沢と堆積する範囲	積雪時に火砕流が発生した場合、雪が融けて火山泥流が流れ下る危険性のある範囲

※ 風向・地形条件等で、到達する方向は変わります。図に示したすべての範囲に到達するわけではありません。

防災マップの問い合わせ先

国土交通省東北地方整備局 TEL 019-624-3131 (調査第一課)
岩手県 TEL 019-651-3111 (総合防災室・砂防対策課)
盛岡市 TEL 019-651-4111 (危機管理防災課)
八幡平市 TEL 0195-74-2111 (防災安全課)
滝沢市 TEL 019-684-2111 (防災防犯課)
栗石町 TEL 019-692-2111 (防災課)

平成10年10月 監修：岩手山火山災害対策検討委員会
発行：国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所、岩手県、盛岡市、栗石町、西根町、滝沢村、松尾村、玉山村
平成31年 3月 改訂：岩手山火山防災協議会
(現八幡平市) (現滝沢市) (現八幡平市) (現盛岡市)

【裏面も要参照】

岩手山の噴火警戒レベル

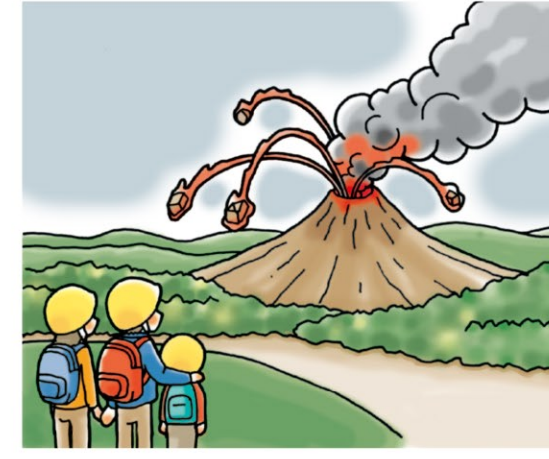
種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別 警報	噴火警報(居住地域) 又は噴火警報	居住地域 及びそれより 火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●融雪型火山泥流または火砕流・火砕サージが居住地域まで到達、あるいは切迫している 過去事例 1686年の噴火：東岩手山山腹で噴火、融雪型火山泥流が川沿いに北上川まで流下、滝沢市一本木地区砂込川沿いの居住地域で一部家屋の流出 火砕流(火砕サージ)は火口から山麓(約4km)まで流下 噴石は火口から山麓(約4km)まで飛散
			4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。 要配慮者及び「特別に被害が予想される区域(施設)」の避難等が必要。	●融雪型火山泥流または火砕流・火砕サージが居住地域まで到達する可能性がある 過去事例 1732年の噴火：東岩手山山腹で噴火、北東山腹に溶岩流出(湧き岩)が流出 激しい地震活動、有感地震の多発、住民避難
警報	噴火警報(火口周辺) 又は火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口から居住地域近くまでの範囲への立入規制等。 状況に応じて要配慮者及び「特別に被害が予想される区域(施設)」の避難準備等が必要。 住民は通常の生活。	●東岩手山の火口から概ね4km以内及び西岩手山の火口から概ね2km以内に影響が及ぶ噴火が発生、または予想される 過去事例 1998年の活動：4月29日、短時間に多数の地震と規模の大きい地震が発生し、地殻変動に急激な変化
			2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口周辺への立入規制等。 (登山道は入口から立入規制) 住民は通常の生活。	●東岩手山及び西岩手山の火口から概ね2km以内に影響が及ぶ噴火が発生、または予想される 過去事例 1919年の噴火：西岩手山(大地獄)で噴火、噴石は山の登山道に飛散 1998年の活動：3月17日、火山性地震が増加し地殻変動開始
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。	状況に応じて火口内への立入規制等。 住民は通常の生活。	●火口内で少量の噴気や火山ガスが発生

注1) 火口は、東岩手山山頂または西岩手山の大地獄谷から雄倉山付道までの範囲に想定される。
注2) 「特別に被害が予想される区域(施設)」とは、融雪型火山泥流が流下する危険のある「滝沢市一本木地区砂込川沿いの区域」及び「岩手山(絶頂)国際交流村」を指す。

噴火が起きたら、起きそうになったら

大きな噴石

大きな噴石の多くは火口から数km程度以内に落下するため、火口から十分に離れた箇所では安全です。岩手山に近づかないようにしてください。



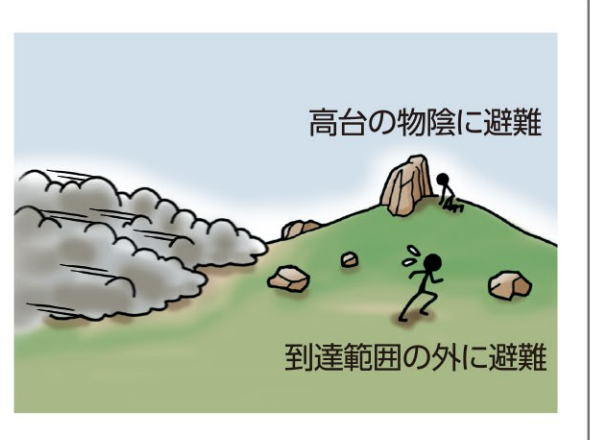
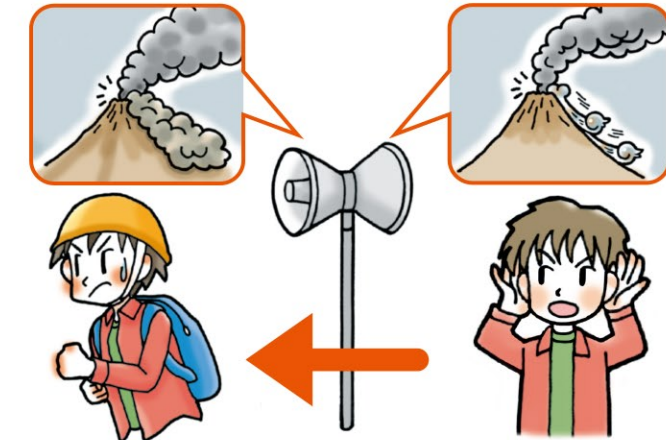
溶岩流

溶岩流は一般に速度が遅く、徒歩でも逃げる事が可能です。落ち着いて、到達範囲の外に避難してください。



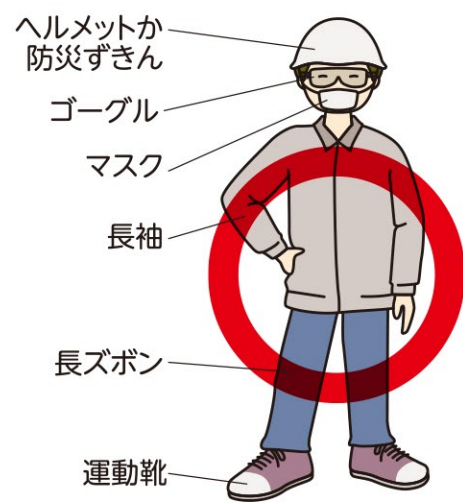
火砕流・火砕サージ

火砕流・火砕サージは高速(時速100km以上)で流れるため、発生してからの避難はほとんど困難です。噴火の危険性が高い状況になったら、火山情報などに十分注意し、速やかに到達範囲の外に避難してください。万が一、避難が遅れた場合は、少しでも高台の物陰に隠れてください。

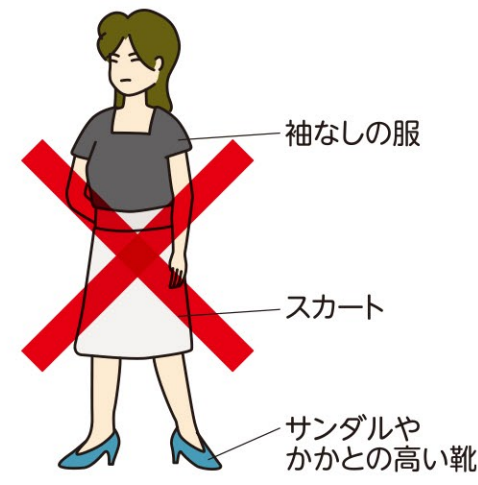


避難時の心得

避難するときには、市役所・町役場から発表される避難勧告や指示に従って落ち着いて行動しましょう。



- 1 気象台が発表する警報・情報に注意しましょう。
- 2 テレビラジオ、メールサービスやアプリ、行政機関の広報などから、正しい情報を入手しましょう。
- 3 誤った情報に感わされないように注意しましょう。
- 4 避難の際には肌の露出を極力避けた服を着用しましょう。
- 5 動きやすい服装、靴にしましょう。



土石流

土石流は雨により発生し、高速(時速50km程度)で流れるため、噴火後、台風の接近など、あらかじめ大雨が想定される場合には、土石流の到達範囲から避難してください。万が一、避難が遅れた場合には、沢から離れた少しでも高いところに避難してください。



融雪による火山泥流

融雪による火山泥流は高速(時速60km程度)で流れるため、速やかな避難が必要です。噴火の危険性が高い状況になったら、火山情報などに十分注意し、できるだけ早く到達範囲の外に避難してください。万が一、避難が遅れた場合には、少しでも高いところに避難してください。



非常用持ち出し品(例)

家族構成などに合わせて準備しましょう。

必要な物

- リュックサック
- 衣料品
- 多機能携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 応急医薬品
- 食料品・水
- 貴重品(現金・通帳・印鑑など)
- 健康保険証
- 携帯電話・充電器



あと便利な物

- ヘルメット
- マッチ・ライター
- ローソク
- 十徳ナイフ・缶切り
- プラスチック製のコップ
- 大小のビニール袋
- マスク
- ゴーグル
- ロープ
- タオル
- ホイッスル



赤ちゃんがいる場合

- ほ乳瓶
- 紙おむつ
- ミルク



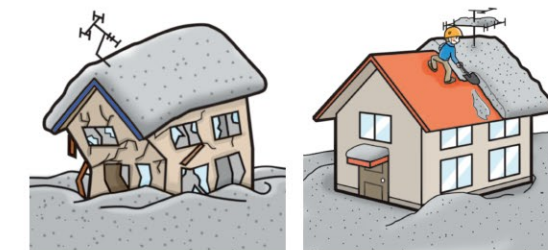
お年寄りがいる場合

- 看護・介護用品
- 常備薬
- 紙おむつ

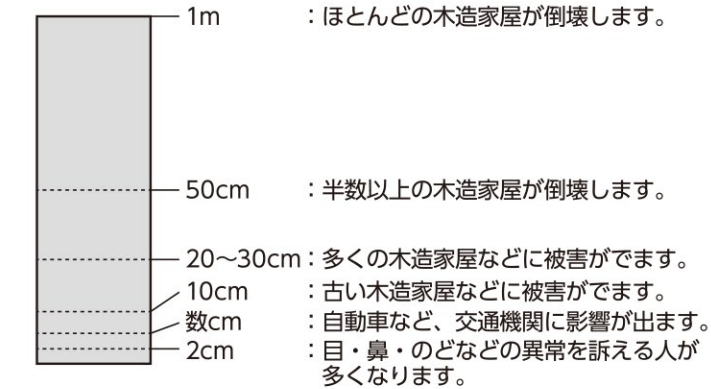


火山灰などの降下

火山灰がたくさん積もった場合には、家屋がつぶれないよう、屋根上の火山灰を除去してください。



降灰による災害：降り積もった火山灰・スコリアなどの厚さと被害の目安(雪が積もっている場合、影響がさらに大きくなります。)



少量でも、火山灰が降り出したら、タオルやマスクなどで吸い込まないようにしましょう。また、帽子を着用しましょう。昼間でも急に暗くなるがありますが、火山灰で死傷することはありません。冷静に行動してください。

